

特集

脱炭素社会の 実現にむけた取り組み



株主の皆様へ



次期中計に向け資本効率重視経営を強化してまいります。

株主の皆様には、平素より格別のご支援、ご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、2020年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、世界中で経済活動が停滞するとい

うかつてない厳しい状況を経験し、緊急経営対策チームを中心に対応した原価低減および経費抑制等の取り組みの成果はあったものの、全社の業績は前期比で減収減益となりました。この結果を踏まえ、2020年度の配当金は1株あたり60円といたしました。

2021年度の業績予想につきましては、自動車部品事業が市場の回復とともにグローバル車種を含む新車種へのワイヤハーネス納入開始を予定していること、また、活況な北米の光ファイバ・ケーブルや、データセンタ関連等の需要を着実に取り込むことにより、インフラ、電装エレクトロニクス、機能製品セグメントで増収増益を見込んでおります。

なお、2020年度は中期経営計画「Furukawa G Plan 2020」の最終事業年度でありました。古河電工グループビジョン2030の達成に向け、共創による新事業の育成等で一定の成果を得たほか、事業の収益力確保には課題を残したものの財務体質は着実に改善しました。次期中期経営計画につきましては開始年度を1年延期することとし、2021年度はさらなる体質の強化と同計画の実行に向けた基盤づくりに取り組み、資本効率重視経営を強化してまいります。

株主の皆様におかれましては、倍旧のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

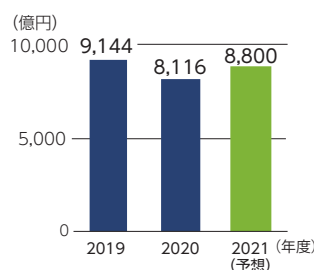
2021年6月

古河電気工業株式会社
代表取締役社長

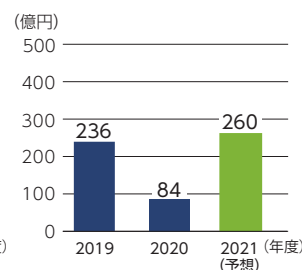
小林 敬一

業績ハイライト

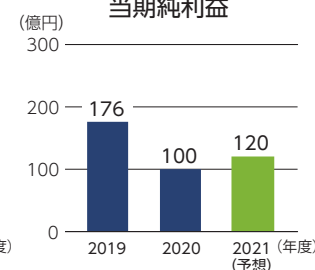
連結売上高



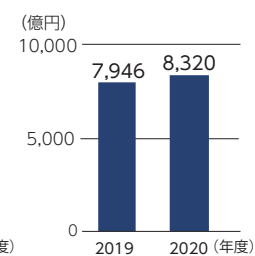
連結営業利益



親会社株主に帰属する
当期純利益



連結総資産



配当金

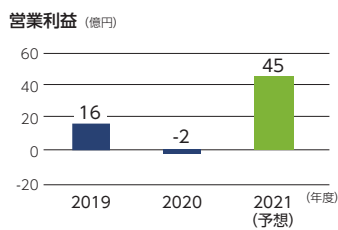
2020年度
(1株あたり)
中間 0円
期末 60円

2021年度予想
(1株あたり)
中間 0円
期末 60円

インフラ

情報通信ソリューション

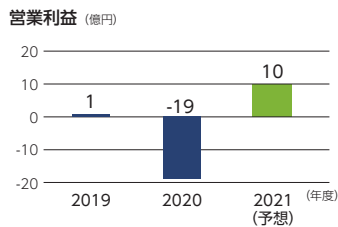
- 主に北米拠点での生産性改善による光ファイバ・ケーブル需要の着実な取り込み
- 国内ネットワーク関連製品、産業用レーザは、コロナ影響により抑制されていた顧客投資が回復
- 光ファイバ・ケーブルのコスト競争力強化と商品差別化に注力



6912心細径超多心
光ファイバケーブル (外径29mm)

エネルギーインフラ

- 国内外地中線案件、国内再生可能エネルギー関連需要の取り込み
- 機能線等の拡販および原価低減
- ターゲット市場(国内再生可能エネルギー関連、超高压地中線)の受注獲得に注力

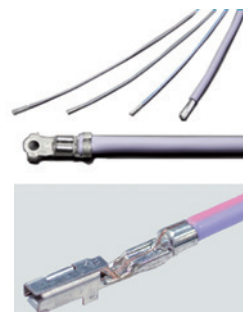
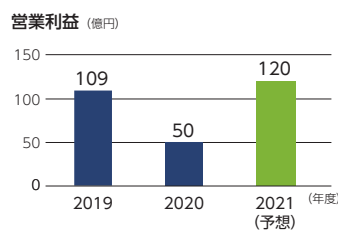


海底電力ケーブル

電装エレクトロニクス

自動車部品・電池

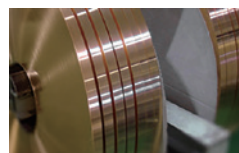
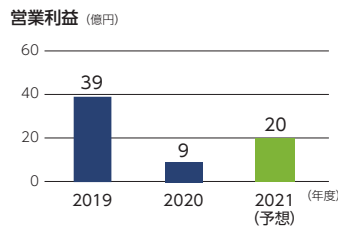
- 自動車市場の回復
- グローバル車種向けワイヤハーネスの納入開始で、増産投資効果発現
- BCPに対応できるグローバルサプライチェーンの強化に注力



アルミワイヤハーネス/α端子

電装エレクトロニクス材料

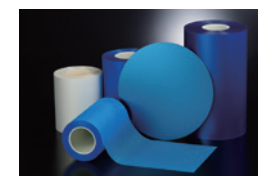
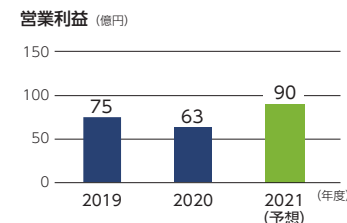
- 車載およびエレクトロニクス関連製品を中心に回復している需要の着実な取り込み
- ニッケル・チタン合金製品の増産投資効果発現
- 耐熱無酸素銅条のパワー半導体および放熱部材向け拡販に注力



伸銅品

機能製品

- 5G、データセンタ、再生可能エネルギー関連市場向け差別化製品の開発・提案・投入
- 半導体製造用テープ、放熱・冷却製品を中心に、活況な半導体、データセンタ関連製品等の取り込み
- 銅箔は、台湾拠点の復旧を継続的に進めるとともに、高付加価値製品に注力



半導体製造用テープ

TOPICS

2021年度は体質強化と25中計の準備を着実に実行

～次期中計は2022年度から2025年度までの4年間とします～

すでにご案内しておりますとおり、2021年度から開始予定としていた次期中期経営計画は、新型コロナウイルス感染症の影響により当社グループを取り巻く経営環境が大きく変化したことから同計画の開始を延期し、2022年度から2025年度までの4年間とすることにいたしました。

2021年度は体質強化と25中計の準備を確実に実行するとともに、主に次の施策を推進してまいります。

- 事業の変革
- 新規事業立上げ・育成強化
- 資本効率重視経営の強化

2020年度を最終年度としていた中計「Furukawa G Plan 2020」の総括および2021年度の取り組み詳細につきましては、当社ウェブサイトをご参照ください。
<https://www.furukawa.co.jp/ir/management/feature.html>





古河電工グループは、「世紀を超えて培ってきた素材力を核として、絶え間ない技術革新により、真に豊かで持続可能な社会の実現に貢献します」との基本理念の下、「古河電工グループビジョン2030」（地球環境を守り、安全・安心・快適な生活を実現するため、情報/エネルギー/モビリティが融合した社会基盤を創る）を定め、ESG（環境・社会・ガバナンス）を軸とした中長期的な企業価値向上を目指したESG経営を推進しています。

環境分野に関しては、温室効果ガスの排出量を2030年には2017年度比26%減とすることを目標とする「環境目標2030」を2019年に定めたのち、2020年1月に「気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）」の提言への賛同を表明、同年12月には国際的な環境NGOであるCDP*から、最高評価である「気候変動Aリスト」企業に選定されるなど、取り組みを進めてまいりました。2021年2月には、2030年以降の超長期の課題認識とその解決に向けた方策を講じていくために、「脱炭素」「水・資源循環」「自然共生」をテーマに「古河電工グループ環境ビジョン2050」を策定し、2050年にはチャレンジ目標として温室効果ガスの排出量ゼロを目指すことを宣言いたしました。

※ CDPについて：CDPIは、英国の慈善団体が管理する非政府組織（NGO）であり、投資家、企業、国家、地域、都市が自らの環境影響を管理するためのグローバルな情報開示システムを運営しています。

「環境ビジョン2050」で掲げる「脱炭素社会」の実現に向けた取り組みとして、当社グループでは、事業所や工場における省エネ活動はもとより、一世紀にわたり利用している水力発電や、太陽光発電などの再生可能エネルギーの利用を国内外のグループ全体で推進しております。また、当社のメタルとポリマーのコア技術を応用した炭素を固着する技術開発により、二酸化炭素に由来する地球温暖化問題を解決する技術や事業の開発にも、グループ全体で取り組んでいます。

今後は、さらなる再生可能エネルギーの利用を進めていくとともに、金属やプラスチックなどの再生材の利用を増やし、バリューチェーン全体で温室効果ガスの削減に貢献してまいります。

再生可能エネルギー利用例



古河日光発電（株）の水力発電

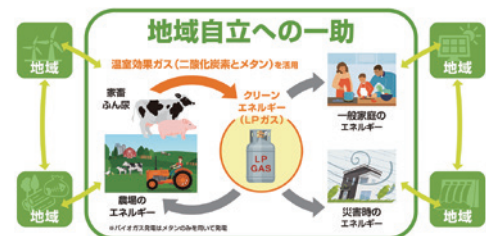
古河日光発電（株）は4つの発電所を有し水力発電による電力の供給を行っています。当社日光事業所の電力を100%賄い、銅条製品は水力発電を利用して生産されています。



銅箔事業部門 太陽光発電設備

国内拠点の三重事業所および銅箔事業部門では太陽光発電設備の利用を開始しているほか、海外拠点では、メキシコ、中国、インドの製造拠点の一部に太陽光発電設備を設置、フィリピンの製造拠点では地熱発電由来の電力を使用しています。

家畜のふん尿から新しいエネルギーを創出する技術を開発



北海道大学との共同研究により、当社のメタルとポリマーのコア技術を用いた金属触媒の固定技術を応用し、バイオガスをLPガスに変換する技術の開発に成功しました。この技術を用いて、家畜のふん尿から得られる二酸化炭素とメタンから貯蔵・輸送しやすいLPガスを創出することで、一般家庭や酪農場などの産業の現場でエネルギーとして用いることができるほか、災害時のエネルギーとしての利用も可能になります。本技術はネガティブエミッションとして脱炭素社会への貢献に加え、エネルギーの地産地消を促し、地域の新しい社会基盤の一助として地域循環共生圏の形成へも貢献できると考えています。

再生可能エネルギーに関連する当社グループ製品のご紹介

政府による「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」の推進も相まって、洋上および陸上の風力発電を中心とした再生可能エネルギーの適用拡大が今後一層期待されています。

当社グループでは、洋上風力発電設備向け海底送電線をはじめとしたさまざまな製品・サービスで再生可能エネルギー関連事業に携わっており、将来のエネルギーミックスの転換に貢献してまいります。

電力ケーブル

- ・超高压・高压地中送電線、部品および工事
- ・海底送電線および工事

太陽光発電モジュール用各種ケーブル

太陽光発電所で使用
アルミ導体ケーブル

太陽光発電所で使用
グリーンラフ

太陽光パネル電極のスクリーン印刷向け
超極細SUS鋼線

太陽光発電用インバータなどに使用
サーマル製品

ケーブル用銅条

オンライン会社説明会

2021年12月上旬 開催予定

平日夜
開催

昨年に続き、オンライン形式の会社説明会を12月上旬に行います。
リアルタイムでご質問を受け付け、プレゼンターである社長の小林がご回答します。

※オンライン会社説明会はPC、スマートフォン、タブレットからどなたでもご参加可能となりますので、ぜひご参加ください。現時点では12月8日(水)の開催を検討しておりますが、詳細につきましては11月頃に当社ウェブサイトにてご案内いたします。



2022年版 古河電工 オリジナルカレンダー

500名様
プレゼント

古河電工オリジナルカレンダー(2022年版)を抽選で500名様にプレゼントいたします。

ご応募期限 2021年7月30日(金) ※ハガキの場合は当日消印有効

抽選結果 12月上旬の発送をもって発表にかえさせていただきます。

※通信費・郵送料などご応募に関する費用は、応募者様のご負担となります。あらかじめご了承ください。

※その他、カレンダープレゼントに関するお問い合わせは、当社ウェブサイト「カレンダーご応募」ページからお願いいたします。

定時株主総会に関するご報告

2021年6月24日に開催の当社第199回定時株主総会の決議の結果ならびに本定時株主総会当日の動画および主な質疑応答録(要旨)につきましても、以下の当社ウェブサイトに掲載しますので、そちらをご覧ください。

※本定時株主総会当日の動画は6月30日頃、主な質疑応答録(要旨)は7月中旬に掲載を予定しております。



<https://www.furukawa.co.jp/ir/stock/meeting.html>

古河電気工業株式会社

ご応募方法はこちら



ウェブでのご応募が便利で簡単です。
当社ウェブサイトの「**カレンダーご応募**」のページより、ご応募ください。

<https://www.furukawa.co.jp/ir/individual/present/index.html>



ハガキでのご応募も可能です。

郵便ハガキに下記事項をご記入の上、ご応募ください。

・氏名・年齢・ご住所・お電話番号・株主番号

【宛先】〒100-8322 東京都千代田区丸の内2丁目2番3号
古河電気工業(株)「カレンダープレゼント」係

※本年7月19日に本社移転を予定しておりますが、ご応募期間中は上記記載の住所あてにご送付をお願いいたします。

配当金のお支払いについて

第199期期末配当金は、1株につき60円と決定いたしました。配当金を「配当金領収証」によりお受取りいただく方には、「配当金計算書」および「期末配当金領収証」を同封しておりますので、最寄りのゆうちょ銀行または郵便局において、払渡(お支払)期間中にお受け取りくださいますよう、お願い申し上げます。

■払渡(お支払)期間 / 2021年6月25日から2021年7月30日

※次回から口座振込みをご希望の場合は、お取引証券会社にお問い合わせください。

※確定申告の際の添付資料には、同封の配当金計算書をご利用いただけます。

◆ 本社移転のお知らせ

当社は、本年7月19日に本社を移転する予定としております。

【新本社所在地】〒100-8322

東京都千代田区大手町二丁目6番4号 常盤橋タワー
電話 03-6281-8500 (代表)

新本社への移転により、従業員一人ひとりが「新しい働き方」を実現し、快適なワークプレイスでの対話や多様な人々とのコラボレーションとチーム力の向上を通じて、より高い価値創出に挑戦し続けます。新本社の詳細につきましては、本年5月19日付ニュースリリースをご参照ください。



(新本社イメージ図)



コラボレーションスペース



執務スペース

◆ 株主メモ

- 事業年度の末日：毎年3月31日
- 定時株主総会：毎年6月
- 公告方法：電子公告 <https://www.furukawa.co.jp/>

※ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載

株主名簿管理人および特別口座 口座管理機関事務取扱場所

東京都中央区八重洲一丁目2番1号

みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

お問い合わせ先

■ 決算・企業情報に関するお問い合わせ

古河電気工業株式会社 IR部 電話 03-3286-3001

※本年7月19日以降の電話番号は03-6281-8500となりますのでご注意ください。

■ 株式事務に関するお問い合わせ

〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

電話 0120-288-324 (フリーダイヤル平日9時~17時)

※住所変更等の事務手続きは、お取引証券会社などにてお手続きください。

当社ウェブサイトにおいて、株式諸手続きに関する情報を掲載しておりますので、合わせてご覧ください。

<https://www.furukawa.co.jp/ir/stock/procedure.html>

